

No.12331 (二〇一七年一月一日号)から  
No.1254 (二〇一七年十二月一日号)まで

No.12331 (二〇一七年一月一日号)

◇巻頭言◇ 貧困も格差もない社会へ

今日の根本問題と解決への道

『資本論』第一巻発刊150年を迎えて

— 向坂逸郎著『資本論入門』と向坂逸郎訳『資本論』記念版 —

要員が足りない！ 職場点検を強め、要員増を

— 長時間労働の是正、要員増に向けた闘いをつくるために —

トランプ・バブル — はじけるのはいつ？ —

『旬刊 社会通信』発刊のころ

— 社会通信の三十九年③ —

読者からのおたより

原野人

中澤 秀行

国労上野反合研

編集部

滝野 忠

No.12332 (二〇一七年一月一日号)

◇巻頭言◇ 二〇一七年頭所感

東電は解体すべき 楽農楽読通信 二〇一七年新年号

「戦争する国」への国家再編

— 「自民党憲法草案・前文」から —

『賃金論』をめぐる私の意見

◇資料と解説◇ エンゲルスの『賃銀制度』

『旬刊 社会通信』発刊のころ

— 社会通信の四十年 (四) —

読者からのおたより

渋谷 澄夫

相田 邦夫

中村 平治

山下 俊幸

編集部

滝野 忠

No.12333 (二〇一七年二月一日号)

◇巻頭言◇ 岩波文庫90年と日本の文化

社会主義にこそ未来がある

— 『資本論』研究会が新年を迎えるにあたって思うこと —

『共産党宣言』と現代資本主義

— 「グローバリズム」ということ —

春闘の変質と再生への途 (上)

読者からのおたより

伊勢 太郎  
鈴木 賢二

編集部

No.1234 (二〇一七年二月一五日号)

◇巻頭言◇ 自殺の電話相談急増

原発事故被害者 相双の会

これが6年目の現実です

あれから6年がたって

原野人

―福島事故原発の現況と展望―

私たちは勝利する。それは勝つまでやめないから

稲村 守

―「高浜原発うごかすな! 関電本店包囲全国集会」―

厳寒の中での熱気と「音海の大ダコ」

◇資料と解説◇ 再稼働は拒否 対話は重視

米山知事・東電トップ初会談

『賃労働と資本』のエンゲルスの「前書き」を読む

中澤 秀行

経済学批判としての『資本論』(上)

―労働と労働力をめぐって―

読者からのおたより

No.1235 (二〇一七年三月一日号)

◇巻頭言◇ 「保護貿易」か「自由貿易」か

小林 晃

―現代も資本主義である、ことを忘れまい(二)―

経済学批判としての『資本論』(中)

『賃労働と資本』のエンゲルスの「前書き」を読む

中澤 秀行

―労働と労働力をめぐって―

「産業報国」春闘

―春闘の変節と再生への道(下)―

『通信』発刊

滝野 忠

読者からのおたより

No.1236 (二〇一七年三月一五日号)

◇巻頭言◇ 私の『資本論』挑戦記

山下 俊幸

経済学批判としての『資本論』(下)

賃金制度という搾取制度

中澤 秀行

―労働と労働力をめぐって―

鉄路切り捨て反対で、オール北海道を

佐野 周二

―「国鉄分割民営化を問う」十勝集会報告―

上場めざし線路切り捨て

―「国鉄分割民営化と日本の政治と労働運動」(上)―

読者からのおたより

No.1237 (二〇一七年四月一日号)

◇巻頭言◇ 17春闘への総括視点

時空を自在に乗り越える観念

— ベーシックインカム (BI) について —

この社会と闘う組織づくり

— 市原芳樹さんに学びたい —

階級的労働運動をつぶす

— 国鉄分割民営化の本質 —

高浜原発運転転停止の天津地裁決定を守り切る！

— 原発のない社会へ二〇一七びわこ集会 —

迫力そして説得力

— 『社会通信』 No.一二三六号を読んで —

読者からのおたより

滝野 忠

原 野人

山下 俊幸

松里 福慈

No.1238 (二〇一七年四月一五日号)

◇巻頭言◇ 国家と国益について

— 独占資本の支配を忘れるな —

戻る先は戻れない だから苦しい

— 原発爆発から六年 — 檜葉からいわきに避難 —

不当決定！ 民意に逆行

— 3・28高浜原発再稼働容認の大阪高裁抗告審に市民の怒り —

政治家の発言・資質・姿勢

国家的詐欺行為の「介護保険」改悪

— 全国一律の制度から市区町村への移行 —

歴史の転換点 — 戦後七十年と、コレカラ (上)

読者からのおたより

原発事故被害者相双の会

稲村 守

金平 博

宮本 嘉峰

No.1239 (二〇一七年五月一日号)

◇巻頭言◇ 独占資本の主張に屈してはいないか

ベーシックインカムについて②

「資本主義の未来」

— 現代も資本主義である、ことを忘れまい (三) —

◇私の意見◇

現代資本主義をどう見るのか

— 「国家独占資本主義」は破綻したのか —

『経済学批判』以前の『共産党宣言』と『哲学の貧困』

— 労働と労働力をめぐって (二) —

読者からのおたより

山下 俊幸

中澤 秀行

小林 晃

原 野人

No.1240(二〇一七年五月一五日号)

◇巻頭言◇ 小中教育労働者の労働

学年・学級は「経営」それとも「運営」

加藤晋介さんの迫力と勘違い

— ベーシックインカムについて③ —

これでいいのか—介護保険「改正」

— 国家的「詐欺」行為の内容 —

『経済学批判』以前の『共産党宣言』と『哲学の貧困』

— 労働と労働力をめぐって(二) —

4・27高浜原発うごかすな！ 関電包囲全国集会

— 700人の参加で再稼働阻止へ —

読者からのおたより

伊勢 太郎

原 野人

宮本 嘉峰

中澤 秀行

稲村 守

No.1241(二〇一七年六月一日号)

◇巻頭言◇ 大杉栄…、共謀罪

権力は怖ろしい

資料 日本労働弁護団幹事長 棗一郎

労働運動を破壊する「共謀罪」 反対する声明

山田則雄さんを訪ねる

— 『奥の細道』の旅 —

『経済学批判』以前の『共産党宣言』と『哲学の貧困』

— 労働と労働力をめぐって (三) —

高浜原発動かすな！

反原発 高浜・福井 リレーデモ

怒りの声が内浦湾に響く

滋賀県知事・大津市長は反対を明言

読者からのおたより

稲葉 耕一

滝野 忠

中澤 秀行

稲村 守

No.1242(二〇一七年六月一五日号)

◇巻頭言◇ トランプと三つの戦争

トランプ政権の今

「共謀罪」法、戦争法に反対

— 十勝集会(5月20日)に六百人 —

『経済学批判』以前の『共産党宣言』と『哲学の貧困』

— 労働と労働力をめぐって(四) —

高齢者の人権を抹殺した介護保険改悪

— まだまだ続く、保険料値上げと費用抑制の改悪 —

読者からのおたより

伊勢 太郎

佐野 周二

中澤 秀行

宮本 嘉峰

No.1243(二〇一七年七月一日号)

◇巻頭言◇ 金よりのち 未来を残そう

6・6 高浜原発再稼働反対現地闘争  
労働戦線再編成と労働運動

稲村 守  
山下 俊幸

— 現代「日本における労働者階級の状態」(一) —  
現代資本主義論の混迷

小林 晃

— 現代も資本主義である、ことを忘れまい(四) —  
加藤晋介さんに何を期待するか

原野人

— ベーシックインカムについて④ —  
向坂先生と宇野弘蔵さん

滝野 忠

— 『資本論』百五十年『資本論』の読み方(一) —  
読者からのおたより

No.1244(二〇一七年七月一五日号)

◇巻頭言◇ 自治体議員をつくることから

伊勢 太郎

都議選結果と政治の再生  
春闘の歴史と労働運動

山下 俊幸

— 現代「日本における労働者階級の状態」(二) —  
『資本論』の読み方

滝野 忠

— 向坂先生と宇野弘蔵さん(二) —  
生活保護制度への対処は

原野人

— ベーシックインカムについて⑤ —  
◇京セラ株主総会の報告◇

稲村 守

京都市美術館命名権問題で追及し賛同者も  
JAL165名不当解雇撤回で京セラも再出発こそ求められている

読者からのおたより

No.1245(二〇一七年八月一日号)

◇巻頭言視覚 道北(旭川—音威子府)への旅

— 資本主義社会と地方 —

資本の労務政策 —

山下 俊幸

— 現代「日本における労働者階級の状態」(三) —  
宇野さんの思想は社会主義を空想にする

滝野 忠

— 向坂先生と宇野弘蔵さん(三) —  
読者からのおたより

No.1246 (二〇一七年八月一五日号)

◇巻頭言◇ AI(人工知能)とBI(ベーシックインカム)

―現代も資本主義である、ことを忘れない(五)―

日本の労働者と雇用

―現代「日本における労働者階級の状態」(四)―

朝日新聞の「天声人語」で紹介された『資本論』

―マルクスの推奨した『資本論』の読み方―

介護現場の声を自治体要請へ

―公的介護保障制度実現にむけて―

読者からのおたより

小林 晃

山下 俊幸

中澤 秀行

宮本 嘉峰

No.1247 (二〇一七年九月一日号)

〈特集〉ベーシックインカム(BI)の何が問題か

原 野人

◇巻頭言◇

(1)ファシズムの台頭に手を貸す恐れはないか

『中期政策補強案の討議のために(8月初旬案)』を読んで

(2)時空を自在に乗り超える観念

(3)独占資本の主張に屈してはいないか

(4)加藤晋介さんの迫力と勘違い

(5)加藤晋介さんに何を期待するか

(6)生活保護制度への対処は

編集後記

No.1248 (二〇一七年九月一五日号)

◇巻頭言◇

岩井さんと向坂先生

滝野 忠

岩井章氏没二〇年のお墓参り

岩井章さん没後20年のお墓参り

蓑輪 泰臣

―「弥次喜多道中」卒業―

おいおい、どこへ行くんだ

小林 久美子

戦争は二度としない

松野 菊美

岩井章著『ひとすじの道50年』

市川 友也

小さな火を全国に

山浦 隆芳

『資本論』猛勉強の中で

山下 俊幸

国労闘争団激励ツアー

滝野 嘉津子

競争社会でなく協力社会

佐野 周二

―「反核平和・9条改悪許さない」新得集会―

大飯原発うごかすな!

稲村 守

―10・15(日) 関電包囲全国集会―

No. 1249 (二〇一七年十月一日号)

◇巻頭言◇ 労働者と『資本論』

『資本論』百五十年 向坂著『入門』読了

『中期政策』の「補強案」という名の「改悪案」

— ベーシックインカムと『党内討議資料』 —

日本労働者の賃金と労働時間

— 現代「日本における労働者階級の状態」(五) —

読者からのおたより

滝野 忠

原 野人

山下 俊幸

No. 1250 (二〇一七年十月一五日号)

◇巻頭言◇ 「搾取」って何だろう？

国労上野反合研 『資本論入門』学習会

統一と団結を守り、社会主義政党として存続するために

— 私の意見 —

◇資料◇ 本部方針「中期政策の補強討議案」の撤回と、

下部討議の即時中止を求める意見書

「働き方」改悪は貧困を拡大

— 現代「日本における労働者階級の状態」(六) —

原点にもどり社保改悪の反対運動を

— ベーシックインカムは貧困を拡大 —

読者からのおたより

宮本 嘉峰

山下 俊幸

森 勉

No. 1251 (二〇一七年十一月一日号)

◇巻頭言◇ 『共産党宣言』発刊百七十年—『宣言』を読もう

ソ連とキューバ

ロシア革命100年に学ぶ

— 反動の時代から社会主義再生の時代へ —

人に志あり

マルクスの志、その追求の軌跡を追う (二)

— すべては疑いうるということ —

生活 そして 社会福祉

— 現代「日本における労働者階級の状態」(七) —

編集部だより

読者からのおたより

滝野 忠

原 野人

中澤 秀行

山下 俊幸

No. 1252 (二〇一七年十一月十五日号)

◇巻頭言◇

東海第2原発の再稼働反対

牛久市議 杉森 ひろゆき氏の一般質問

生活 社会福祉 貧富の差拡大

—現代「日本における労働者階級の状態」(八)—

人に志あり

高校生マルクスの作文

マルクスの志、その追求の軌跡を追う(二)

向坂先生『自治体労働者に寄す』を読もう

—自治体労働者が混乱から脱出するために—

大飯原発うごかすな! 関電包囲全国集会

—豪雨・総選挙中 大阪本店前に市民の怒り—

読者からのおたより

杉森 弘之

山下 俊幸

中澤 秀行

原 野人

稲村 守

No. 1253 (二〇一七年十二月一日号)

◇巻頭言◇

「働き方」は労働日をめぐる闘争

『資本論』第八章労働日を読もう

「補強討議案」撤回を

—千葉県本部大会報告—

理科教育・事終わり

—地域に生きる子どもたちに必要な知とは何かを問い続けて(二)—

人に志あり

青年マルクスの志と、神・宗教

マルクスの志、その追求の軌跡を追う(三)

「改憲を迎え撃つ」必読の書

矢田部理・新社会党初代委員長、『いつも全力。こんな議員が国会にいた』

読者からのおたより

滝野 忠

山下 俊幸

藪 芳郎

中澤 秀行

原 野人

No. 1254 (二〇一七年十二月十五日号)

◇巻頭言◇

消えてしまった独占資本

科学をリセットして空想の世界へ

BIへの私の意見

理科教育・事終わり

—「自分の頭で考える」ためのかじ取りに必要な現状認識(二)—

人に志あり

エンゲルスの「原始キリスト教の歴史について」

—マルクスの志、その追求の軌跡を追う(四)—

原 野人

滝野 忠

藪 芳郎

中澤 秀行